

介護福祉学科 (昼間部2年制)

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		講義概要	
						前 期	後 期	前 期	後 期		
基礎分野	独自科目	コンピューター Information Science	必修	演習	3	90	30	30	30	30	コンピュータの操作方法 ワード・エクセル・パワーポイント)を学ぶ。
		介護研究 Clinical Practice in Care Facilities	必修	演習	4	120		30	60	30	高齢者の楽しみ活動の支援・介助についてグループ研究として取り組む。知識を専門的に身につけ論文を作成・発表する。
		国家試験講座 Examination Measures Class	必修	講義	4	120		30	30	60	国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、検定試験の合格を目指す。
		業界特講 Extra Lectures in business	必修	講義	2	60			30	30	実際に福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、求められる人材について理解を深めキャリア設計に役立てる
専門分野	人間と社会	人間と尊厳と自立 Human Dignity and Independence	必修	講義	2	30	30				介護における尊厳・自立保持の支援や介護場面における倫理的課題を学ぶ。
		人間関係とコミュニケーション Interpersonal Relationship and Communications	必修	講義	2	30		30			介護実践に必要な人間理解、他者への情報伝達に必要なコミュニケーションを学ぶ。
		社会の理解Ⅰ Basic Understanding of Society I	必修	講義	2	30		30			個人を家族・近隣・地域・社会の単位でとらえ人間の自立について、および我が国の社会保障を学ぶ。
		社会の理解Ⅱ Basic Understanding of Society II	必修	講義	2	30			30		介護保険制度、障害者の自立支援を担う法制度、介護実践と諸制度を学ぶ。
		健康科学講座 Health Science	必修	講義・演習	2	60		30	30		介護予防を学ぶ1つとして健康分野とケア分野の専門知識を理解し日常生活動作向上につなげる技法を身につける。
		介護福祉特講 Extra Lectures in Welfare	必修	講義	4	120	30	30	30	30	「生活」家庭」の視点から地域福祉の現状・展望を学ぶ。介護予防」の視点から地域福祉の課題と展望を学ぶ。クラス・グループ活動を通じ協働とリーダーシップを学ぶ。
		地域特講 Extra Lectures in communities	必修	講義	2	60	30	30			地域包括支援を担う介護分野の領域や、視点について理解を深めるために、社会資源の理解や企画運営を通して、マネジメント力の基礎を学ぶ
		国際福祉論(海外研修) Comparative Perspective of Welfare	必修	演習	1	30			30		海外の福祉と文化を学び実際に見学体験をする。外国・異文化圏の福祉観や制度に触れ、福祉の展望や課題について考える。
	介護	介護の基本Ⅰ Provide Basic Personal Care I	必修	講義	4	60	30	30			尊厳を保持し、自立に向けた生活への介護、介護の専門的役割、DFについて学ぶ。生死観について考える。
		介護の基本Ⅱ Provide Basic Personal Care II	必修	講義	4	60	30	30			介護福祉士の役割、介護実践の連携、安全確保とリスクマネジメント、健康管理について学ぶ。
介護の基本Ⅲ(演習) Provide Basic Personal Care III		必修	演習	2	60			30	30	「生きがい」支援を学ぶ。レクリエーション活動の支援に必要な基本を身につける。関連する療法について学ぶ。	

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		講義概要	
						前 期	後 期	前 期	後 期		
専門分野	介護	コミュニケーション技術Ⅰ Communication Skill Theory	必修	講義	2	30	30				援助的コミュニケーションを理解し、多職種連携のためのコミュニケーションを身につける。
		コミュニケーション技術Ⅱ(点字) Braille	必修	演習	1	30		30			援助的コミュニケーションの技術(点字)の基礎を習得する。
		コミュニケーション技術Ⅱ(手話) Sign Language	必修	演習	1	30			30		視覚障害者とのコミュニケーション技法を学ぶ。
		生活支援技術Ⅰ Skill that Support Life I	必修	講義	2	30	30				家庭生活(小規模多機能・ユニットケア・グループホームも含む)の基本、家事の介護、緊急時の対応について学ぶ。
		生活支援技術Ⅰ(演習) Skill that Support Life I	必修	演習	2	60		30	30		調理・被服実習を通して高齢者の生活の実際を学ぶ。
		生活支援技術Ⅱ Skill that Support Life II	必修	講義	4	60	30	30			アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護の知識を学ぶ。
		生活支援技術Ⅱ(演習) Skill that Support Life II	必修	演習	4	120	60	60			アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護を演習を通じて学ぶ。
		生活支援技術Ⅲ(演習) Skill that Support Life III	必修	演習	2	60			30	30	尊厳の保持の観点から自立的な生活を支援するために、多様な利用者に応じた適切な介護技術を学ぶ。
		介護過程 Personal Care Process	必修	講義	10	150		30	60	60	知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案する。適切な介護サービスの提供の為に介護看護の連携を学ぶ。
		介護総合演習 Clinical Practice in Welfare Facilities	必修	講義	8	120	30	30	30	30	介護実習Ⅰ、Ⅱについて総合的に学習する。また介護看護の連携を行い他職種の理解をする。
		介護実習Ⅰ Clinical Practice in Welfare Facilities I	必修	実習	2	96		96			学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。
	介護実習Ⅱ Clinical Practice in Welfare Facilities II	必修	実習	8	376		160	216		学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。	
	この ところ から だ	発達と老化の理解Ⅰ Basic Understanding Development and Aging	必修	講義	2	30	30				成長と発達、老年期の発達成熟、老化に伴う変化と生活(心身)、高齢者と健康について学ぶ。
		発達と老化の理解Ⅱ Basic Understanding Development and Aging	必修	講義	2	30			30		成長と発達、老年期の発達成熟、老化に伴う変化と生活(心身)、高齢者と健康について学ぶ。

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		講義概要	
						前 期	後 期	前 期	後 期		
専門分野	こころとからだのしくみ	認知症の理解 Basic Understanding of Dementia	必修	講義	4	60	30	30			認知症者の体験や意思表示が困難な特性を理解する。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。
		障害の理解 Basic Understanding Disabled and Not Disabled	必修	講義	4	60	30	30			障害者の心理や身体機能に関する基礎的知識を学ぶ。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。
		こころとからだのしくみ Mechanism of Mind and Body	必修	講義	8	120	30	30	30	30	介護技術の根拠となる人体の構造や機能および介護サービスにおける安全への留意点、心理的側面への配慮・ターミナルケアを理解する。多様な障害について理解を深める。
		医療的ケア Medical Care	必修	講義・ 演習	6	90	30		30	30	たんの吸引、口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部)、経管栄養、肩ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生に関する知識や技能を習得する。
総時間数					112	2512	510	856	786	360	